

平成28年度第1回  
旭市学校のあり方検討委員会会議録

1 期 日 平成28年7月20日(水) 開会 午後6時30分  
閉会 午後7時25分

2 場 所 旭市役所海上支所3階会議室

3 出席者

会	長	伊藤	啓子
副	長	齊藤	勝弘
委	員	岩井	憲一
委	員	平野	一男
委	員	石橋	敬弘
委	員	加瀬	栄一
委	員	嶋田	太郎左工門
委	員	島田	昌信
委	員	佐瀬	史恵
委	員	高野	英之
委	員	山角	健一
委	員	向後	依明
委	員	平野	進
委	員	富田	貴子
委	員	向後	和保
委	員	小沼	加代
委	員	小関	三枝子

市	長	明智	忠直
教	長	多田	哲雄
学	長	石見	孝男
校	長	多田	英子
教	長	仲條	義治
育	長	橋村	昌樹
課	長	鈴木	益実
務	長	来栖	慎一
課	長	亘	隆男
副	長		
課	長		
副	長		
課	長		
主	幹		
幹			
主	幹		
幹			
副	主		
主	幹		
査			

#### 4 開 会

- ・庶務課来栖副主幹

それでは定刻となりましたので、第1回学校のあり方検討委員会を開催いたします。

#### 5 委嘱書交付

- ・教育長から委員17人へ委嘱書を交付する。(委員1人欠席)

#### 6 市長あいさつ

皆様ご苦勞様でございます。公式の会議という中で大変遅い時間に皆様方にお集まりいただきまして本当にありがとうございます。先ほども話しがありましたように、この会議は教育委員会が所管でございますが、市の行政に大きく関わってくる訳でもあり、第1回という事でもありますので、私の方からも挨拶をさせていただきたいということで出席したところであります。

これから皆様方には、学校のあり方について大所高所からご議論をいただくわけでありまして、市では公共施設等総合管理計画を策定したところでございますが、近隣の市町では、学校の再編計画も進んでいるところでございます。ご承知のように全国的にも人口減少時代で旭市でも合併してから11年目になりますが、およそ5,000人が減少しているところであります。将来に向かって、国立社会保障人口問題研究所の調査によりますと、2040年には旭市は55,000人くらいに、2060年には、40,000人を切るというような人口の推計がされているところでございます。当然、学校も公共施設ということで維持管理費もかかるわけでございます。今後5年間ぐらいは児童生徒数も変わらないわけですが、10年、15年先のことを今から色々と検討していただかなければ、住民の理解は得られない、また総論賛成、各論反対ということもありますので、また5年ぐらい先にならないと統廃合はできないと思っています。皆さんは教育に熱心な方々ばかりでありますので、今日から、これからの旭市の小中学校の教育のあり方の部分について議論を重ねていただきたいと思いますと思っていますところであります。

近隣の市でも銚子市は、小学校の人数が少ない学校は統合することになり、中学校も統合したわけです。東庄町は小学校が統合するようですし、香取市もそうです。匝瑳市もすでに統廃合しています。旭市は、バランスよく小中学校が配置されておりまして、児童生徒数もそんなに警鐘を鳴らすところもないわけですが、先ほど申しましたとおり、10年、15年先を今からみんなで考えていただきたい。また、配置の部分、人数の部分も含めまして、小学校、中学校をどう配置したらいいのか、将来的にどういった方向に進めばいいのかなどを議論していただきたいと思っていますところでございます。

この検討委員会は、皆さんお忙しい中ではありますけれども、2年ぐらいで方向性を出していただきまして、その先は、旭市全体の問題ではありますので、

統廃合の具体的な進め方について、再度委員の選考をして、「統廃合」という会の名前をつけて進めていきたいと思っております。皆様には、真剣に旭市の子どもたちの将来について考えていただき、この検討委員会で方向付けをしていただきたいと改めてお願いするところでございます。

旭市は子育て支援を十分進めていくつもりでおります。人口を減らさないように、人口減少に歯止めをかけたいという願いがございます。その辺も含めて参考にしていただければありがたいと思っております。お忙しいところ委員をお受けいただき、これからも引き続きのご支援をお願いいたします。

## 7 教育長あいさつ

皆さんこんばんは。ただ今、2年間にわたる旭市学校のあり方検討委員会委員としての委嘱書を交付させていただきました。皆様方には公私共にお忙しい中を快く委員をお引き受けいただき本当にありがとうございます。これから2年間で6回の会議を考えているところでありまして、皆様方お一人お一人からご意見を賜りまして、委員会としての方向付けを示していきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

現在の旭市の学校を取り巻く状況を見ますと緩やかではありますが、他の市町村と同様に少子化に伴う児童生徒数の減少があります。小学校では1学年1クラスの学年が多くなってきております。中学校でも1学年2クラスという学年も増えている状況です。このような状況を見ますと、やはり旭市においても少子化に伴う学校規模の縮小による学校教育への影響が少なからず生じることが考えられます。そこで、将来にわたって子どもたちの教育環境の向上に努めることが、市、そして教育委員会としての責務でもあります。そのことを前進解決していくためにも市民の皆様の幅広い意見を拝聴し検討を進めていくことが大切であるということから、この検討委員会を設立したものであります。

旭市内では、大規模校、小規模校がともにあります。それぞれの学校にはそれぞれの良い点または、課題となる点がありまして、それらをこの委員会で話し合い、それぞれのお立場からご検討いただき、旭市の実態に合った学校のありべき姿を示していただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、皆様方には、意見をまとめて提言をいただくわけですが、教育委員会といたしましては、それを受け、次に繋がる具体的な改革案を作成し、多くの市民の皆様にもご理解いただきながら、順次進めていきたいと考えております。それではこれから第1回の会議が始まりますのでどうぞよろしくお願い致します。

## 8 委員紹介

(各委員自己紹介する)

## 9 旭市学校のあり方検討委員会設置要綱について説明

(庶務課多田副課長が説明する)

## 10 会長・副会長選出

### ・庶務課来栖副主幹

続きまして次第の7、会長及び副会長の選出に移らせていただきます。会長及び副会長の選出は、委員会設置要綱の第6条第1項の規定では、会議は会長が議長になると定められておりますが、会長・副会長選出までの間、事務局が議事を進行させていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

では、ご了解をいただいたということで、私の方で、議事進行を行わせていただきます。

議事の会長・副会長の選出ですが、旭市学校のあり方検討委員会設置要綱第5条第1項の規定では、「委員の互選による」とされていますが、いかがいたしましょうか。

(事務局一任の声多数あり)

### ・庶務課来栖副主幹

事務局一任の声がありましたがいかがでしょうか。

(異議なしの声多数あり)

それでは、事務局より指名をさせていただきます。会長を「伊藤啓子委員」に、副会長を「齋藤勝弘委員」にお願いしたいと存じます。委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なしの声と拍手により承認される)

### ・伊藤会長あいさつ

皆さんこんばんは。ただ今ご指名いただきました伊藤啓子でございます。どうぞよろしくお願いたします。先ほど市長から、この会議は市行政に大きく関わる重要な委員会であるというお話をいただきました。また、幅広い見地から意見をということで、ここには保護者の代表の皆様、地区代表の区長の皆様などたくさんの方がお集まりの中で、私に会長が務まるのか不安ですが、皆さんからたくさん意見を頂戴しながら務めさせていただきたいと思っております。重要な委員会であるということをしっかりと肝に銘じて先ほどの委

囑書を頂きましたので、それに恥じないようにしっかり務めてまいりたいと思いますのでどうぞご協力よろしくお願いいたします。

(市長退席する)

## 11 議 題

### ・庶務課来栖副主幹

それでは、ここからの進行は会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

### ・伊藤会長

それでは、議題の1「会議の進行方法について」事務局からの説明をお願いします。

### ・庶務課多田副課長

「会議の進行方法について」協議していただく内容は、本委員会会議を公開とするか、非公開とするかについてです。

お配りした資料の1ページ目、参考部分の「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱（抜粋）」をご覧ください。この要綱は、審議会等の会議の公開に関し必要な事項を定めております。第1条により、審議会等の会議のより公正な運営及び透明性の向上を図ることにより、もって開かれた市政の実現に資することを目的としています。

「旭市学校のあり方検討委員会」は、名称は異なりますが、第2条に規定する「審議会、協議会等」にあたります。「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」第3条によりまして、原則公開することになっておりますが、第3条第3号の規定により、「会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営が阻害されると認められるときで、審議会等が会議を公開しないことを決定した場合」は、本委員会を公開しないこともできます。

ここで、会議の公開に関しまして、皆様にお諮りいたします。当委員会を「公開すべきか」「非公開とすべきか」ご協議をいただきたいと思います。

なお、本会議の概要につきましては、旭市ホームページにおいて会議終了後掲載をすることを予定しております。以上です。

### ・伊藤会長

はい、ありがとうございます。事務局より本委員会を「旭市審議会等の会議の公開に関する要綱」により、公開すべきか非公開とすべきかについて説明がありました。何かご意見がございますか。

・委員

会議の内容をホームページで公開するというのであれば、公開性は保たれます。傍聴者が入ることで活発な議論に支障がでるなどの心配もされますので会議を非公開としてはいかがでしょうか。

・伊藤会長

非公開とする意見が出ましたが、皆さんいかがでしょうか。

(異議なしの声多数あり)

・伊藤会長

ありがとうございます。それでは、会議終了後にホームページで公開することですので、本委員会の会議を非公開とします。よろしくお願いします。

続いて、議題の2 検討委員会設置の経緯について事務局からの説明をお願いします。

・庶務課亘主査

配付資料2 ページにより「検討委員会設置の経緯について」ご説明させていただきます。

旭市には、現在、小学校15校、中学校5校の計20校の公立学校があり、5,102人の児童生徒が就学しております。しかしながら近年、全国的な少子化が進み、児童生徒の減少に伴う学級数の減少から「学校の小規模化」が広がりつつあります。旭市においても同様であり「学校の小規模化」に対して、真摯に向き合う時期に来ていると思われれます。「学校の小規模化」は、児童生徒一人ひとりに目が行き届くなど良い面もありますが、クラス替えができず人間関係が固定化したり、様々な集団活動・行事等の教育効果が下がったりするなどの影響があります。また、教職員の配置数が減ることによってグループ別指導や習熟度別指導、専科指導等の多様な指導方法をとることが困難になり、学校運営にも影響が及ぶことも考えられます。

また、今後、財政的にも厳しくなることが予想される中で、学校施設を充実したものとするための方策も考えていく必要があります。一方、学校には、児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、保育、地域交流の場等、様々な機能を併せもっています。このようなことから、旭市教育委員会は、次代を担う子供たちへの教育効果を第一に考え、各学校の規模や地理的条件、また、地域との関わりや地域コミュニティの活性化などの幅広い見地から、子供たちにとってより充実した教育環境が提供できるようにするため、この度「旭市学校のあり方検討委員会」を設置したところです。

つきましては、本市における児童生徒を取り巻く状況や社会経済情勢の動向なども踏まえ、幅広い見地より意見交換、検討を行い、旭市の目指すべき学校のあり方について提言していただきたいと思えます。

ここで、補足説明として、旭市における「児童生徒数の推計」について、学校教育課鈴木から説明をさせていただきます。

・学校教育課鈴木主幹（管理主事）

平成28年度から、34年度末の今後6年間の児童生徒の推移について補足説明させていただきます。まず減少人数ですが、小学校は、市内15校で284人、年平均47人の減少になります。中学校は市内5校合計で172人年平均約29人の減少を見込んでいます。小中学校の合計では、456人、年平均76人の減少を予想しております。小学校については、過去6年間の352人減に比べ、今後6年間の児童数の減少は緩やかになると推測されております。中学校については、過去6年間の150人減に比べ減少数が拡大していますが、小学校の減少数が緩やかになっていることを考えると、さらに長い目で見ると減少は緩やかになっていくと思われまます。

学校別に見ると、小学校では富浦小、共和小、萬歳小以外は減少します。中学校では、すべての学校で減少が見込まれます。減少率が大きいのは、小学校では三川小が26.1%減、滝郷小が21.4%減であり、2校は20%を超えております。中学校では、海上中が19.8%、飯岡中が18%とおおよそ20%近い減少になると見込まれております。学級数は、40人の標準学級数で見ると小学校で9学級減、中学校で5学級減となっています。

なお、学級数につきましては県教委による学級編制の弾力的な運用に伴い実際の学級数は、この資料と異なってきますことを付け加えさせていただきます。以上です。

・伊藤会長

はい、ありがとうございます。今、議題2の検討委員会設置の経緯について事務局より、ご説明をいただいたわけですが、委員の皆さん、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

（質疑なし）

・伊藤会長

今日初めてこの資料を見たので、いきなりご意見と言われても困ると思いますが、無いようですので次に進んでよろしいですか。

では、続いて、議題の3「今後のスケジュール(案)」について事務局より説明をお願いします。

・庶務課亘主査

はい。配付資料の7ページをご覧ください。

今後のスケジュール(案)としましては、平成30年2月までの約2年間で6回の会議を開き、提言内容をまとめ、教育委員会に提言書を提出していただく予定です。また、このスケジュール(案)における検討内容はあくまで素案であり、第2回目以降、会議の意見交換が進む中で検討内容も具体的になるものとして作成いたしました。

大まかな流れとしましては、第2回から第5回の会議の中で、「学校の現状と課題について」から始まり、幅広い見地より課題を洗い出し、意見交換を行ってもらったうえで、「学校の適正規模・適正配置」について最終的な提言内容をまとめていただく予定です。

そこで、検討の際の参考資料として、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引き」を用意させていただきました。お手元の青色のファイルになります。この手引きは、学校の小規模化が進み、それに伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することを懸念し、平成27年に文部科学省が作成した資料です。手引きの目次を開きますと「適正規模・適正配置について」「学校統合に関して留意すべき点」「小規模校を存続させる場合の教育の充実」等の項立てがしてあり、学校のあり方を検討する上での基本的な方向性や考慮すべき要素、留意点等がまとめられていることがわかります。委員の皆様方には、本手引きを参考に今後の話し合いをお願いしたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。今後のスケジュール(案)についての説明は以上となります。

・伊藤会長

はい、ありがとうございます。今、議題3の今後のスケジュール(案)について事務局より、ご説明をいただいたわけですが、委員の皆さん、何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

・委員

先ほどいただいた資料で、各学校別の児童生徒数の一覧がありますけれども、できれば平成28年度と34年度を比較した場合の減少数もしくは減少率を入れていただくとわかりやすいと思います。それから、過去5年程度も入れていただくと推移がわかるのかなと思いますので、次回の資料に載せていただければと思います。

・伊藤会長

すみません、進め方が早くて「今後のスケジュール」の説明に進んでしまいましたが、その前の「児童生徒数の推計」についてのご要望ですね。これについてはいかがでしょうか。



・庶務課多田副課長

はい。第2回の会議までに準備させていただきます。

・伊藤会長

皆さん、今日初めてお会いして、この資料を見たわけですので、次回までに聞いておきたいことがございましたら、ぜひお願いします。

・委員

今のご意見とほとんど同じですが、平成34年度までの推移があるということですが、その先の見通しについて、先ほどの市長のお話の中でも10年、15年先というお話がありました。近隣の統廃合の様子を見ていると実はもっと先のことを論じているようにも見受けられるわけですので、人口推移ができるのであれば、その資料も出していただけるといいのかなと考えるのですが、あくまでも予測されるものということになると思うのですがいかがでしょうか。

・伊藤会長

生まれていない者はわかりませんが、このことについてはいかがですか。

・庶務課多田副課長

この数字は、住民基本台帳で推計を出しておりまして、その先の推計については少し難しいかと思いますが、検討をさせていただきたいと思います。

・伊藤会長

では、皆さんの意見を踏まえて、第2回に備えていただけると言うことでよろしくをお願いします。その他はいかがでしょうか。

スケジュールについては、月まで書かれておりますけれども、日にちについては、後ほど通知がくるわけですね。

・庶務課多田副課長

はい。そうです。それと事務局で今考えておりますのが、今日皆様にお集まりいただいて、学校の事をいきなりお話いただくことは無理なのかなと思っておりまして、第2回の会議までに皆様からご意見をいただけたらと考えております。事務局から通知をさせていただきますと、学校の課題ですとか様々な思いもあると思いますので、用紙にご記入いただいて返信をお願いしたいと思います。先ほどの文部科学省の手引きも参考に見ていただければと思います。

・伊藤会長

日程だけでなく、事務局の方から提案がありました。次回は、資料を読ん

できなり意見をというよりは、事前に調査をさせていただいてというお話であったと思いますが、いかがでしょうか。その方が次回の話が進むかなと思います。いかがですか。

(異議なしの声多数あり)

・伊藤会長

では、事務局はゆとりを持ってご案内いただいて回答するという形で、次回に備えるということでもよろしくお願いいたします。

他はよろしいですか。せつかくですからこれまでの説明でなくてもよろしいので何かありませんか。各地域の代表の方がおいでになっておりますので何かございましたらお願いします。

・委員

区として、小学校の行事といえますか、学校の公開日とか運動会などに参加するのですが、今、40人で1クラスですか。40人以上でなければ2クラスにはならないですか。もっと少なくてもいいのではないかと思います。だんだんと子どもが少なくなってくるのに、40人に1人では先生も余ってしまうのではないかと思います。

・伊藤会長

管理主事いかがでしょうか。

・学校教育課鈴木主幹（管理主事）

1学級あたりの児童生徒数については、国の方で決められております。先ほどの資料にもありましたが40人でありまして、小学校1年生のみ35人です。ですが、千葉県独自に少人数指導というのがありまして、小学校1年生は、35人が標準です。2年生についても35人となっております。3年生から6年生については38人です。県の加配で教職員をもらって2学級にすることができます。中学校につきましては、1年生が35人です。本来は40人ですが、千葉県独自の少人数指導で35人です。2年生と3年生も千葉県独自で38人というようになっております。

・委員

国などで決まりがあればそういうものなのでしょうが、旭市だけでなく千葉県中が減っているわけですよ。ならば人数を少なくした方が良くはないかと私は思います。1クラス38人から40人では先生も大変でしょう。20人で1クラス受け持っている先生と、39人で1クラス持っている先生では違いますよね。それに教室も結構余っていますよね。

・伊藤会長

ただ今、貴重なご意見がありました、その他はいかがでしょうか。

・委員

鶴巻小学校の場合ですが、今の1年生が15人で、全員が女子です。他の学校でも同じようなことはありますか。

・委員

滝郷小学校も1クラスが全員女子のクラスがあります。1人男子がいたのですが、他は女子なので他の学校に行ってしまったということもあります。

・伊藤会長

各地域の実情が出てきましたが、この事でなにか教育委員会で付け加えるようなことはありますか。女子だけのクラスが増えているなどありますか。

・学校教育課鈴木主幹（管理主事）

具体的な学校名は挙げられないですが、傾向としては小規模校になればなるほど偏りが大きくなることは確かにございます。

・伊藤会長

議長の方で申し訳ありませんが、以前勤めた学校で、1年生が5人しか入ってこない学校があって、男の子が4人、女の子が1人で、ダイヤモンドのような5粒の子どもたちが一生懸命やっていたなど、懐かしく思い出します。管理主事からも話があったように、小規模校では色々な傾向が出てきて、それが課題になってくるのかなと思います。いくつかご意見をいただいたので、たぶん次回は、このような話題に触れられるのかなと思います。皆さんも心配な点や、ご意見がありましたら、後日教育委員会から送付される調査用紙に書いていただければと思います。本日は、この辺りでよろしいですか。

（了承の声多数あり）

ありがとうございました。それでは、これで終わらせていただきます。お忙しいところ長時間ありがとうございました。今後とも旭市の児童生徒の教育をどう高めていくか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。皆さんのお力添えどうぞよろしくお願いいたします。この後は、進行を事務局にお返しします。

・庶務課来栖副主幹

ありがとうございました。それでは、最後に次第の9の「その他」で、事務局より何点か事務連絡をさせていただきます。

## 12 その他

- ・庶務課亘主査

それでは2点ほど、事務連絡させていただきます。まず1点目ですが、次回以降の会議開催の時間帯についてですが、今回と同様、午後6時30分からということでしょうか。お仕事されている方もいらっしゃるのでは、この時間にさせていただきましたがいかがでしょうか。

- ・委員

良いのではないのでしょうか。

- ・委員

この時期だから、6時30分でもいいけども、11月や2月はどうでしょうね。

- ・庶務課亘主査

では、6時ではどうでしょうか。

- ・庶務課来栖副主幹

委員の委嘱をお願いに伺わせていただいた際に、保護者の方など、若い委員さんから早い時間は難しいという意見をいただきましたので、本日はこのような時間帯で会議を設けさせていただきました。若い委員さんの方からご意見いかがですか。

- ・委員

私は、子どもの送迎に振り回されている状況なので、用事が済んでから、会議に来る様な感じですので、予定がわかりません。子どもの予定で全部動いている感じですので、来れる時間で出席します。

- ・庶務課亘主査

では、次回もこの時間でもよろしいでしょうか。ではよろしく願いいたします。

- ・庶務課来栖副主幹

何かご質問はございますでしょうか。

無いようですので、本日の会議は、以上で閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

## 13 閉 会